

第 39 回独立行政法人国民生活センター契約監視委員会会議議事概要

開催日	平成 30 年 1 月 29 日 (月)	
場所	独立行政法人国民生活センター東京事務所 5 階特別会議室	
出席委員氏名	委員長 鈴木 幸弘 (独立行政法人国民生活センター監事) 委員 有川 博 (日本大学総合科学研究所教授) 委員 山内 容 (弁護士) 委員 竹内 啓博 (公認会計士・税理士) 委員 岩田 三代 (独立行政法人国民生活センター監事)	
抽出案件	3 件	(備考) ・委員再任に伴い、委員長を互選した。 ・事務局から、今回の審議対象の契約件数等について報告した。 ・岩田委員から、第 3 四半期の契約の状況を踏まえ、一者応札・一者応募かつ落札率 90%超となった契約、落札率 90%超となった契約及び不調により随意契約となった契約について審議対象とした旨報告した。
(内訳)		
一般競争入札	2 件	
公募	0 件	
随意契約	1 件	
	意見・質問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	平成 29 年度第 3 四半期に契約締結した抽出案件および検証結果の審議内容は、別紙のとおり	平成 29 年度第 3 四半期に契約締結した抽出案件および検証結果の審議内容は、別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	な し	

(別紙)

意見・質問	回 答
<p>【事案1】家庭内事故解析棟の劣化部分に対する修繕工事（商品テスト部）</p> <ul style="list-style-type: none">・入札説明会に参加後、応札しなかった事業者の理由如何。・参考見積りを徴取した事業者の選定理由如何。・参考見積りを見ると、価格が高くても保証期間が長く耐久性のある資材を提供しているものも見受けられるが、価格のみで決定するのがよいのか。	<ul style="list-style-type: none">・工期内に別の工事があり、人員の確保ができない等である。・家庭内事故解析棟の新築工事を施工した事業者と同系列のリフォーム専門事業者及び近隣のリフォーム事業者を選定した。・本件は、そこまでの仕様は求めておらず、最低価格落札方式としているが、個々の調達内容を勘案して案件によっては、総合評価落札方式等、提案型の調達方式も採用している。
<p>【事案2】商品テスト3号棟空調設備更新工事（商品テスト部）</p> <ul style="list-style-type: none">・参考見積りを徴取した事業者の選定理由如何。・仕様書上空調機器のメーカーの指定をしたのか。	<ul style="list-style-type: none">・既設の空調機器メーカーから紹介を受けた施工事業者及び近隣の施工事業者を選定した。・既存の配管を再利用することを基本としているが、事前に他のメーカーの空調機器であっても取付けが可能であることを確認しており、仕様書でメーカーは指定していない。
<p>【事案3】相模原事務所で使用するガスの供給（総務部管理室）</p> <ul style="list-style-type: none">・東京事務所で使用するガス供給契約と比較して、参加状況に差異はあったか。・供給時期の使用量が変化するなど、使用する状況が変われば、今回契約した事業者ではなく、例えば、応札した事業者の方が廉価となる可能性があるのか。	<ul style="list-style-type: none">・東京事務所の入札に参加した事業者とは異なる一者のみの参加及び応札であった。他の事業者にも参加を呼び掛けたが、参加までには至らなかった。・参加事業者へのヒアリング等の結果、現時点では、競争原理が十分働く市場が形成されているとは言えず、今回の契約内容が最も廉価であると思料される。